

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスおはなまう	公表日	2024年 月 日		
環境・体制整備	子エック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	広いスペースを利用し、音楽活動をおこなっている。	個別対応が必要な場合には、パーテーションなどを利用し、スペースを確保していきたい。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	配置人数は足りている。	職員ひとりひとりのスキルアップにて改善を図ることができる。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	安全に配慮した環境作りをおこなっている。視覚的に分かりやすいよう適宜イラストや写真にて提示している。	取柄を分かりやすくしたり、次にやることな分かるよう動線を作る等、更に改善をおこないたい。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	日々の清掃をおこない、新しい職員にも丁寧に指導している。適宜、その日の活動に合わせた空間作りをおこなっている。	日々の清掃では不十分な箇所に関して、集中的におこなう日を設定するなど、検討していく。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	別室の使用を許可制とし、普般は立ち入りしないことを貼り紙にて(視覚的に)伝えている。	一度に複数名が利用する時に他の部屋も利用できるようにするなどの配慮をする。
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	それぞれの職員がPDCAサイクルを意識し、情報共有をおこなっている。会議には非常勤職員にも参加を促している。	非常勤職員も会議の時間を検討し出席しやすくする。
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表を受けて会議の機会を設けている。意見を書面でも伝えられるようにしている。	全員で集まりスタッフと意見交換できるミーティングを設ける。
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	日頃より職員間で情報共有をおこなっている。会議を定期的におこない、改善策を講じている。	全員で集まりスタッフと意見交換できるミーティングを設ける。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		第三者評価については検討中。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所内にて定期的な研修をおこなっている。非常勤職員にも積極的に参加を促している。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	その日の活動に関して、参加児童に合った活動を計画している。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	個々のこどもの特性を理解し、日頃の様子等を加味して作成している。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	定例のミーティングと必要に応じて話し合う場を設けている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	必要に応じて、口頭にて他職員に説明をおこなっている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	日頃の変化を職員間で共有するなどして、適応行動の状況を確認している。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	見発言と他職員の連携により、具体的な支援内容を設定している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	週替わりのリーダーを中心とし、他職員がサポートする形でプログラムの立案をおこなっている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節感を意識した活動プログラムを提供している。	

適切な支援の提供

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	音楽遊びや製作遊び等実施している。児童が安心して過ごせるよう臨機応変に対応している。	活動のアイデアを更に充実させていきたい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	全ての職員の意見も取り入れ、効率良く行われている。外出プログラムの際には、活動計画書を作成し、事前に共有している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	PDCAサイクルを踏まえ、意見交換を密におこなっている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	業務日誌を活用し、記録に漏れがないよう確認している。必要に応じて話し合い等で活用している。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しと必要性を判断し、適切な異直しを行っているか。	8	0	定期的に個人面談を行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0	長期利用日や長期休職中などは外出プログラムを盛り込み、様々な体験ができるようにしている。児童が積極的に参加できるように活動プログラムを試行錯誤し提供している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動内容の中で、適宜選択する機会を設けている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8	0	他関係機関と連携して得た情報は、事業所内の職員にも必要に応じて周知している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	学校からの依頼を職員、保護者へ共有。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	現在児発の受け入れはない。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	要望があれば行っている。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	7	1	子どもセンターを積極的に利用している。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けける機会を設けているか。	7	1		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか。	7	1		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	送迎時にその日の様子を職員が伝えている。変化や課題がある場合は、細かに情報共有を行うこともある。	外部の者が中心なので所内研修を検討中。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	変更等があった場合にも丁寧な説明をおこなっている。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	個人面談、送迎時にお話を伺っている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	定期的な個人面談有り。その上で同意を得ている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	要望があれば管理者より迅速な助言や面談をおこなっている。	

保護者への説明等

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する組織を設ける等の支援をしているか。	5	3		
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		管理者への報告と、迅速な対応をおこなっている。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	8	0		
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		毎月の避難訓練や職員研修の機会を設けている。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		モニタリング時に確認している。
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	8	0		アレルギー表を作成し、キッチンに保管している。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		避難訓練は利用頻度が少ない児童でも参加できるよう、曜日を考慮し毎月おこなっている。
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		ヒヤリハットは事業所内で周知している。再発防止のために話し合いをおこなったり、会議の議題とすることもある。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を確保しているか。	8	0		定期的に研修の機会を確保している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		どのような対応が身体拘束にあたるのかを職員間で把握し、実施した場合は情報共有をおこなっている。

非常時等の対応

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおはなまろ		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日	～	2024年 8月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 14
○従業員評価実施期間	2024年 8月 1日	～	2024年 8月 20日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を取り入れた活動(PG)を行っている。</li> <li>職員間との関係性良く連携がとりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノに特化している。</li> <li>月に1回は音楽の先生を招き音楽活動を行っている。</li> <li>週に1回は音楽遊びを取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノ以外の楽器を使用したり、アイデアを出し合い、音楽遊びの質を高める。</li> <li>情報共有をしっかりと行いさらなる支援の向上を図る。</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日支援前にその日の活動(PG)について話をしている。</li> <li>職員間でコミュニケーションを取っている。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント(行事)に力を入れ活動(PG)を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員と情報共有し様々なアイデアを出し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各イベント(行事)について会議を開き今よりも質の高いイベント(行事)を用意する。</li> </ul>

	事業所の強み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容について十分に話し合いをしているが準備不足お祈りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直前に伝えることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議を開き話し合いの場を設け準備して行う。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員ひとりひとりのスキル不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の情報共有が足りていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の場を設けスキルを向上する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戻す位置などの共有足りていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な物の整理整頓を行い環境を整える。</li> </ul>